

## 2. 工事請負契約書第25条第5項の運用に係る様式等について

平成20年7月11日  
契約管理課長  
事務連絡

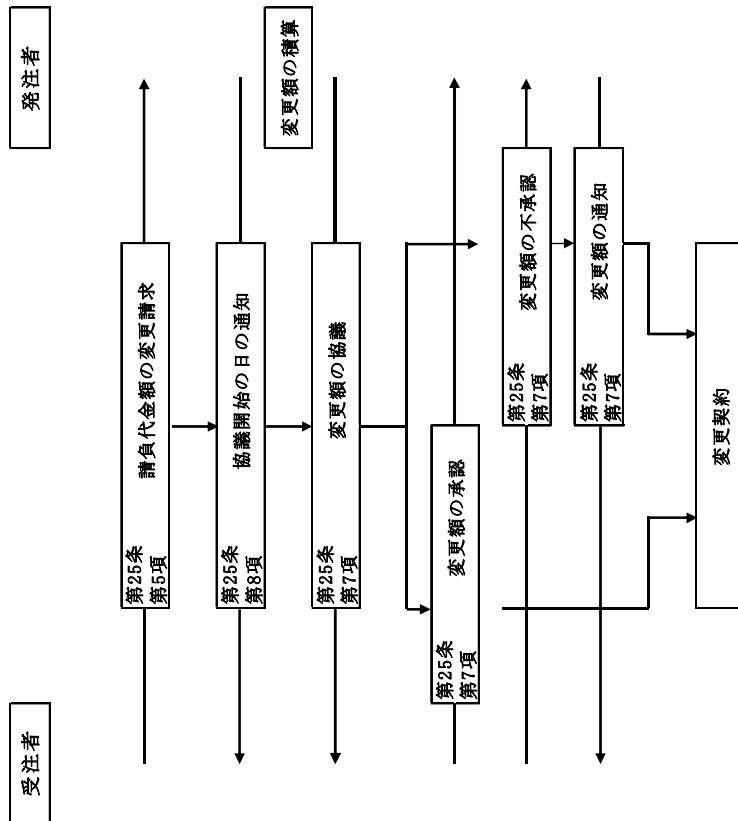
標記のことについては、平成20年6月25日付け技企第1086号で通知したところですが、その様式等取扱いについて定めたので下記のとおり通知します。

2

### 記

- |                         |         |
|-------------------------|---------|
| 1 請負契約書第25条関係           |         |
| (1) 事務の流れについて (フロー図)    | 別添1のとおり |
| (2) 様式                  | 別添2のとおり |
| 2 請負契約書第37条関係 (部分払時の取扱) | 別添3のとおり |

工事請負契約書第25条第5項(単品スライド条項)適用事務手続フロー図



- 様式1号 ※工期未までに時間がいないため、変更額の協議期間を確保できず工期延伸が必要になる場合は、様式1号の2を使用
  - 様式2号 ※請求があった日から7日以内に通知  
※協議開始の日は、受注者の意見を聴いた上原則工期末から45日前の日を設定
  - 様式3号 ※積算に基づいた変更額を通知  
※変更額が契約金額の1%未満の場合等スライド条項を適用しない場合は、変更額0円で協議
  - 様式4号 ※ 受注者の意思確認
  - 様式5号 ※協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合は、県が定め、受注者に通知
- ※変更額0円の場合は、変更契約不要

平成 年 月 日

兵庫県契約担当者  
様

受注者  
住 所  
氏 名

2

資材価格の急激な変動に伴う請負代金額の変更について

平成 年 月 日付けをもって請負契約を締結した、 工事に  
ついて、資材価格の急激な変動に伴い請負代金額を変更したく、建設工事請負契約  
書第25条第5項に基づき請求します。

記

- |         |                         |
|---------|-------------------------|
| 1 請負代金額 | ¥                       |
| 2 工期    | 平成 年 月 日<br>平成 年 月 日    |
| 3 添付書類  | 請負代金額の変更の対象材料証明書<br>その他 |

※ 経過措置期間中で、変更額の積算、協議する期間がなく工期延伸が必要となる場合

平成 年 月 日

兵庫県契約担当者  
〇〇県民局長 様

受注者  
住 所  
氏 名

資材価格の急激な変動に伴う請負代金額の変更について

平成 年 月 日付けをもって請負契約を締結した、 工事に  
ついて、資材価格の急激な変動に伴い請負代金額を変更したく、建設工事請負契約  
書第25条第5項に基づき請求します。

なお、請求にあたっては変更額算定に伴う工期延伸が必要な場合にはこれを承諾  
するとともに、損害の補償等については、一切請求いたしません。

記

- |         |                         |
|---------|-------------------------|
| 1 請負代金額 | ¥                       |
| 2 工期    | 平成 年 月 日<br>平成 年 月 日    |
| 3 添付書類  | 請負代金額の変更の対象材料証明書<br>その他 |

平成〇〇年〇月〇〇日

請負代金額の変更の対象材料証明書

兵庫県契約担当者  
様

受注者 住所  
会社名  
代表者氏名 印

工事請負契約書第25条第5項による請負代金額の変更請求にあたり購入した材料価格等について、下記のとおり資料を提出します。

工 事 番 号  
工 事 名  
工 期

記

品 目	規 格	単 位	数 量	購 入 単 価	購 入 金 額	購 入 先	鋼材：搬入年月 燃料：購入年月	備 考
記載例								
○鋼	○	t	〇〇. 〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇商社	H〇年〇月	
○鋼	○	t	〇〇. 〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇商社	H〇年〇月	
			〇〇〇. 〇	〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇,〇〇〇			H〇年〇月 計
○鋼	○	t	〇〇. 〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇商社	H〇年△月	
○鋼	○	t	〇〇. 〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇商社	H〇年△月	
			〇〇〇. 〇	〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇,〇〇〇			H〇年△月 計
○鋼	○	t	〇〇. 〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇			○鋼合計
□油	○	L	〇〇〇	〇〇. 〇	〇〇,〇〇〇	〇〇石油	H〇年△月	
□油	○	L	〇〇〇	〇〇. 〇	〇〇,〇〇〇	〇〇石油	H〇年△月	
			〇,〇〇〇	〇〇. 〇	〇〇〇,〇〇〇			H〇年△月 計
□油	○	L	〇〇〇	〇〇. 〇	〇〇,〇〇〇			□油合計
△油	○	L	〇〇〇	〇〇. 〇	〇〇,〇〇〇	□□石油	H〇年□月	
△油	○	L	〇〇〇	〇〇. 〇	〇〇,〇〇〇	□□石油	H〇年□月	
			〇,〇〇〇	〇〇. 〇	〇〇〇,〇〇〇			H〇年□月 計
△油	○	L	〇〇〇	〇〇. 〇	〇〇,〇〇〇			△油合計

(注)

1. 購入単価、購入数量等については、その内容を証明する資料（納品書等）を添付の上、併せて監督職員に提出すること。
2. 対象材料は、品目毎および購入年月毎にとりまとめるものとする。なお、とりまとめ数量欄が足りない場合は、別紙にとりまとめるものとする。
3. 対象材料の燃料油について、全てを証明する書類の提出が出来ない場合は、監督職員と協議するものとする。
4. 注1の証明資料に不備があり、対象材料の確認が出来ない場合は、請負代金額の変更（単品スライド条項の適用）は出来ない。

別添2 様式2号

第 号  
平成 年 月 日

受注者  
住所  
氏名 様

兵庫県契約担当者

資材価格の急激な変動に伴う請負代金額の変更に係る  
変更額協議日の通知について（通知）

平成 年 月 日付けで請求のあった、 工事における請負代  
金額の変更について、建設工事請負契約書第25条第8項に基づき協議開始日を通  
知します。

記

1 変更額協議開始日 平成 年 月 日

別添2 様式3号

第 号  
平成 年 月 日

受注者

住 所  
氏 名

様

兵庫県契約担当者

2

資材価格の急激な変動に伴う請負代金額の変更に係る  
建設工事請負契約書第25条第7項に基づく協議について

平成 年 月 日付けで請負代金額の変更の請求があった、  
工事について、変更額を下記のとおり積算しましたので建設工事請負契約第25条  
第7項に基づき協議します。

記

1 変更額 ¥

別添2 様式4号

平成 年 月 日

兵庫県契約担当者  
様

受注者  
住 所  
氏 名

資材価格の急激な変動に伴う請負代金額の変更に伴う  
建設工事請負契約書第25条第7項に基づく協議について（回答）

平成 年 月 日付けで協議のあった、標記のことについて、

承認します。

承認しません。



別添2 様式5号

第 号  
平成 年 月 日

受注者

住 所  
氏 名

様

兵庫県契約担当者

2

資材価格の急激な変動に伴う請負代金額の変更に係る建設工事  
請負契約書第25条第7項ただし書に基づく通知について

平成 年 月 日付けで回答があった、 工事については変更  
額を下記のとおりとしますので建設工事請負契約第25条第7項ただし書に基づき  
通知します。

記

1 変更額 ¥

別添2 様式 (第37条第2項)

平成 年 月 日

兵庫県契約担当者  
様

受注者  
住 所  
氏 名

請負工事既済部分確認請求書

工事請負契約書第37条第2項により既済部分の確認を請求します。  
なお、確認された出来高部分について単品スライド条項の協議の対象とできるよう求めます。

記

工 事 名			
工 事 場 所			
工 期	自	平成	年 月 日
	至	平成	年 月 日
請 負 代 金 額			

受注者作成

### 工事出来形報告書

工事番号： \_\_\_\_\_  
工事名： \_\_\_\_\_  
受注者名： \_\_\_\_\_  
現場代理： \_\_\_\_\_ 印

基準日：平成 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日現在

費目	工種	種別	契約数量	単位	出来形数量	出来形数量 比率	摘要

(注)「工事出来形報告書」作成上の注意事項

- 1 本報告書は、契約書第37条に基づく部分払いの請求を行う場合に、「請負工事既済部分検査請求書」とともに監督員に提出すること。
- 2 「基準日」は既済部分検査請求日と同じとし、同日現在の「契約数量」及び「出来形数量」について記載すること。
- 3 「費目・工種・種別」は、金抜き設計書の工事費内訳書と整合させ、共通仮設費まで記載すること。
- 4 共通仮設費については、率分の場合のみは内訳の記載は不要とし、積み上げ分がある場合には内訳(種別)まで記載すること。
- 5 「出来形数量比率」は、出来形数量÷契約数量で算出し、小数第4位以下を切り捨てること。  
(1式計上されているものについては、別途積み上げ、出来形比率を算出すること。)

<記入例>

受注者作成

工事出来形報告書

工事番号：〇〇第〇〇〇-〇-〇〇号  
 工事名：〇〇〇〇立抗新設工事  
 受注者名：〇〇〇〇建設株式会社  
 現場代理：〇〇〇〇 印

最新の契約数量  
 →契約日と基準日の確認

基準日：この基準日が既済部  
 分確認請求日の日付となります

基準日：平成20年9月30日現在

費目	工種	種別	契約数量	単位	出来形数量	出来形数量 比率	摘要
立抗新設工							
	土工						
		土工	① 7,000	m3	① 6,400	② 91.4%	
	地中連続壁築造工						
		ガードウォール工	① 1	式	① 1	③ 100.0%	
		掘削工	1	式	1	100.0%	
		安定液工	1	式	1	100.0%	
		鉄筋かご工	880	t	880	② 100.0%	
		コンクリート工	22,100	m3	22,100	100.0%	
		汚水処理工	1	式	1	③ 100.0%	
		泥土処分工	1	式	1	100.0%	
		ケーシング設置工	1	式	1	100.0%	
	地中連続壁仮設工						
		循環池工	① 1	式	① 1	③ 100.0%	
		溝壁安定工	1	式	1	100.0%	
		製作架台吊治具工	1	式	1	100.0%	
		観測機器設置	1	式	1	100.0%	
	本土工						
		掘削工	① 1	式	④ 1	③ 5.0%	
		均しコンクリート	300	m3	0	② 0.0%	
		コンクリート工	12,500	m3	0	0.0%	
		型枠工	6,500	m2	0	0.0%	
		鉄筋工	2,700	t	0	0.0%	
		支保工	1	式	0	③ 0.0%	
		足場工	1	式	0	0.0%	
		仮設工	1	式	1	27.5%	
		計測工	1	式	1	10.0%	
		雑工	1	式	1	42.5%	
	仮設工						
		作業床	① 2,700	m2	① 2,500	② 92.5%	
		設備ヤード	12,000	m2	11,500	95.8%	
		場内排水工	1	式	1	③ 65.5%	
		防音壁	680	m	680	② 100.0%	
		鋼矢板工	600	枚	550	91.6%	
		工事用仮橋工	1	式	1	③ 100.0%	
		雑工	1	式	1	50.0%	
直接工事費							
共通仮設費							

「工事報告」作成手順

- ① 契約数量、出来形数量を記入する。
- ② 出来形数量比率 = 出来形数量 ÷ 契約数量で算出し、小数第4位以下を切り捨てる。  
 (③単位が1式の場合は、積み上げた出来形比率とする。)
- ④ 共通仮設費は、率分のみの場合は記入不要。  
 (積み上げ分がある場合は、共通仮設費の内訳(種別)まですべて記入する。)

別添2 様式 (第37条第3項)

平成 年 月 日

受注者

住 所

氏 名

様

兵庫県契約担当者

2

既済部分確認通知書

下記工事について、検査の結果、既済部分を確認したので通知します。  
 なお、確認した出来高部分について単品スライド条項の協議の対象とできることとします。

記

工 事 名			
工 事 場 所			
工 期	自	平成	年 月 日
	至	平成	年 月 日
請 負 代 金 額			

確認した出来高部分に相応する請負代金額                      ¥                      円



<記入例>

発注者作成

出来形確認部分内訳書

最新の契約数量

工事番号：〇〇第〇〇〇-〇-〇〇号  
 工事名：〇〇〇〇立抗新設工事  
 発注者名：〇〇〇〇建設株式会社

検査日：平成20年10月10日  
 基準日：平成20年9月30日現在

費目	工種	種別	契約数量	単位	出来形数量	出来形数量比率	摘要
立抗新設工							
	土工						
		土工	① 7,000	m3	① 6,400	② 91.4%	
	地中連続壁築造工						
		ガードウォール工	① 1	式	① 1	③ 100.0%	
		掘削工	1	式	1	100.0%	
		安定液工	1	式	1	100.0%	
		鉄筋かご工	880	t	880	② 100.0%	
		コンクリート工	22,100	m3	22,100	100.0%	
		汚水処理工	1	式	1	③ 100.0%	
		泥土処分工	1	式	1	100.0%	
		ケーシング設置工	1	式	1	100.0%	
	地中連続壁仮設工						
		循環池工	① 1	式	① 1	③ 100.0%	
		溝壁安定工	1	式	1	100.0%	
		製作架台吊治具工	1	式	1	100.0%	
		観測機器設置	1	式	1	100.0%	
	本体工						
		掘削工	① 1	式	④ 1	③ 5.0%	
		均しコンクリート	300	m3	0	② 0.0%	
		コンクリート工	12,500	m3	0	0.0%	
		型枠工	6,500	m2	0	0.0%	
		鉄筋工	2,700	t	0	0.0%	
		支保工	1	式	0	③ 0.0%	
		足場工	1	式	0	0.0%	
		仮設工	1	式	1	27.5%	
		計測工	1	式	1	10.0%	
		雑工	1	式	1	42.5%	
	仮設工						
		作業床	① 2,700	m2	① 2,500	② 92.5%	
		設備ヤード	12,000	m2	11,500	95.8%	
		場内排水工	1	式	1	③ 65.5%	
		防音壁	680	m	680	② 100.0%	
		鋼矢板工	600	枚	550	91.6%	
		工事用仮橋工	1	式	1	③ 100.0%	
		雑工	1	式	1	50.0%	
直接工事費							
共通仮設費							

「工事報告」作成手順

- ① 契約数量、確認した出来形数量を記入する。
- ② 出来形数量比率 = 出来形数量 ÷ 契約数量で算出し、小数第4位以下を切り捨てる。  
 (③単位が1式の場合は、積み上げた出来形比率とする。)
- ④ 共通仮設費は、率分のみ場合は記入不要。  
 (積み上げ分がある場合は、共通仮設費の内訳(種別)まですべて記入する。)